

平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成21年度調査）

後発医薬品の使用状況調査 結果概要（速報）

1. 目的

- ・ 保険薬局における「後発医薬品への変更不可」とされた処方せんの受付状況等の把握
- ・ 医療機関における処方せん交付時の状況等の把握
- ・ 患者における後発医薬品に対する意識等の把握

2. 調査対象

- ・ 本調査では、「保険薬局調査」「診療所調査」「病院調査」「医師調査」「患者調査」の5つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。
- ・ 保険薬局調査：全国の保険薬局の中から無作為に抽出した1,000施設。
- ・ 診療所調査：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した2,000施設。
- ・ 病院調査：全国の病院の中から無作為に抽出した1,000施設。
- ・ 医師調査：上記「病院調査」の対象施設に勤務する、診療科の異なる2名の医師。
- ・ 患者調査：上記「保険薬局調査」の対象施設に調査日に来局した患者。ただし、1施設につき最大4名の患者とした。

3. 調査方法

- ・ 対象施設・医師・患者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・ 保険薬局調査については、施設属性、処方せん枚数等を尋ねる「様式1」と、実際に調剤した薬剤料を尋ねる「様式2」の2種類の調査票を配布した。
- ・ 診療所調査については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、後発医薬品の使用状況と使用に関する意識、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「診療所票」を配布した。
- ・ 病院調査については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を使用する上での課題を尋ねる「病院票」を配布した。
- ・ 医師調査については、医師に後発医薬品の使用状況と使用に関する意識等を尋ねる「医師票」を配布した。配布に際しては、上記の病院調査の対象施設を通じて行った。
- ・ 患者調査については、患者に後発医薬品の使用に対する意識等を尋ねる「患者票」を上記保険薬局調査の対象施設を通じて行った。
- ・ 医師調査及び患者調査の回収は、各医師及び患者から直接事務局宛の返信用専用封筒にて直接回収した。
- ・ 調査実施時期は平成21年7月～平成21年8月。

4. 調査項目

区分	主な調査項目
(1)保険薬局調査	<ul style="list-style-type: none"> ○薬局の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織形態、職員数 ・ 調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無、後発医薬品調剤体制加算の有無、後発医薬品調剤率 ○処方せんの受付状況等（1か月間） <ul style="list-style-type: none"> ・ 処方せん発行医療機関数、後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等が9割以上ある機関数、先発医薬品・後発医薬品を銘柄指定している機関数、1か月間に受け付けた処方せん枚数等 ○取り扱い処方せん枚数の内訳（1週間） <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り扱い処方せん枚数、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん枚数、後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等がない処方せん枚数等 ・ 後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等がある処方せん枚数、処方せん内容の一部について変更不可としている処方せん枚数等 ○後発医薬品への対応状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の調剤に関する考え、後発医薬品の調剤に積極的に取り組んでいない場合の理由、後発医薬品の品質保証方法についての認知度 ・ 後発医薬品の説明を行った患者の割合、説明をしなかった理由、後発医薬品の説明を行った患者のうち後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合等 ・ 後発医薬品の説明と一般的服薬指導の合計時間等 ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄状況の変化、薬局で取り扱っている後発医薬品の採用理由等 ○ジェネリック医薬品希望カードの認知度等 <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、提示されて後発医薬品に変更調剤した患者の割合等 ・ 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫等 ○後発医薬品使用についての考えや今後の課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用についての考え ・ 後発医薬品使用を進めるための課題 ○薬剤料の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 処方せんの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料及び実際に調剤した薬剤料等

<p>(2)病院調査</p>	<p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設者、病院種別、DPC の対応状況、特定入院料の状況、許可病床数、医師数・薬剤師数 ・ オーダリングシステムの導入状況 ・ 1 か月間の外来延べ患者数、1 か月間の外来診療実日数、平均在院患者数 <p>○後発医薬品の備蓄品目数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品備蓄品目数、後発医薬品の備蓄品目数 ・ 採用医薬品リストの薬剤師会等への提供状況 ・ 1 年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化 <p>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内投薬及び院外処方における後発医薬品の使用状況 ・ 院外処方せんを発行している診療科、院外処方せん発行枚数、後発医薬品を銘柄指定した処方せんまたは変更不可欄に署名等をしなかった処方せんの割合等 <p>○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使用しない場合の理由 ・ 後発医薬品を使用して生じた問題点 ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応等 <p>○ジェネリック医薬品希望カード等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫等 <p>○後発医薬品使用についての課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の使用についての課題等
<p>(3)医師調査</p>	<p>○属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、担当診療科、1日あたり外来診察患者数 <p>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由 ・ 1 年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・ 後発医薬品への変更不可欄に署名した処方せん発行の有無、割合、その理由等 ・ 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への変更不可と記載した処方せんの発行経験の有無、理由、その理由 ・ 後発医薬品に関心のある患者の割合、1 年前との比較 ・ 後発医薬品を銘柄指定した院外処方せん枚数の割合 ・ 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい情報提供について

	<p>○ジェネリック医薬品希望カードの認知度等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、提示されて後発医薬品を処方した患者の割合等 <p>○後発医薬品使用についての考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の承認に関する認知度 ・ 後発医薬品の処方を進める上で望まれる対応 <p>○今後の課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の使用を進める上での課題 等
<p>(4)診療所調査</p>	<p>○回答者の属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、担当診療科等 <p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所在地、開設者、種別、許可病床数、主たる診療科、医師数・薬剤師数 ・ オーダリングシステムの導入状況 ・ 1 か月間の外来延べ患者数、1 か月間の外来診療実日数、平均在院患者数 <p>○後発医薬品の備蓄品目数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品備蓄品目数、後発医薬品の備蓄品目数 ・ 採用医薬品リストの薬剤師会等への提供状況 ・ 1 年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化 <p>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院外処方せん発行の有無 ・ 後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由 ・ 1 年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・ 後発医薬品への変更不可欄に署名した処方せん発行の有無、割合、その理由等 ・ 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への変更不可と記載した処方せんの発行経験の有無、理由、その理由 ・ 後発医薬品に関心のある患者の割合、1 年前との比較 ・ 後発医薬品を銘柄指定した院外処方せん枚数の割合 ・ 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい情報提供について <p>○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使用しない場合の理由 ・ 後発医薬品を使用して生じた問題点 ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応等

	<ul style="list-style-type: none"> ○ジェネリック医薬品希望カードの認知度等 <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、提示されて後発医薬品を処方した患者の割合等 ・ 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫 ○後発医薬品使用についての考え <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の承認に関する認知度 ・ 後発医薬品の処方を進める上で望まれる対応 ○後発医薬品使用についての課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用についての課題等
(5)患者調査	<ul style="list-style-type: none"> ○属性等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢 ・ 診察を受けた診療科、薬局への来局頻度、かかりつけ薬局の有無、加入している健康保険の種類 ○後発医薬品の使用に対する意識等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の認知度 ・ 医師や薬剤師からの後発医薬品についての説明の有無 ・ 後発医薬品処方を申し出た経験の有無、申し出のしやすさ ・ 後発医薬品処方の申し出をしやすくするために望まれること ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、保有の有無、入手先、効果、利用経験、利用意向 ・ 後発医薬品の使用経験の有無 ・ 後発医薬品に対する満足度、窓口での薬代の負担感 ・ 後発医薬品の使用意向 ・ 後発医薬品を使用する上で必要なこと ・ 後発医薬品を使用する上での要望等

5. 結果概要

(1) 回収の状況

図表 1 回収の状況

調査区分	有効回収数	有効回収率
①保険薬局調査		
保険薬局数(様式1)	566	56.6%
様式2に記載された処方せん枚数(339薬局分)	5,964	—
②診療所調査		
一般診療所数	724	36.2%
③病院調査		
病院数	362	36.2%
④医師調査		
医師数	465	—
⑤患者調査		
患者数	1,012	—

(2) 保険薬局調査の概要

【調査対象等】

○調査票 様式1

調査対象：全国の保険薬局の中から無作為に抽出した保険薬局

回答数：566施設

回答者：管理者

○調査票 様式2

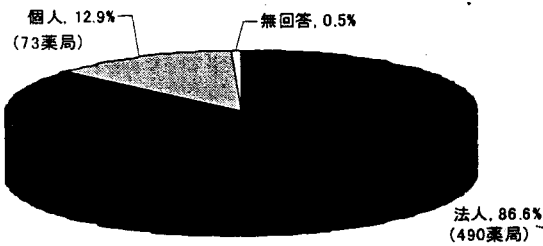
処方せん枚数：5,964枚（339薬局分）

回答者：管理者

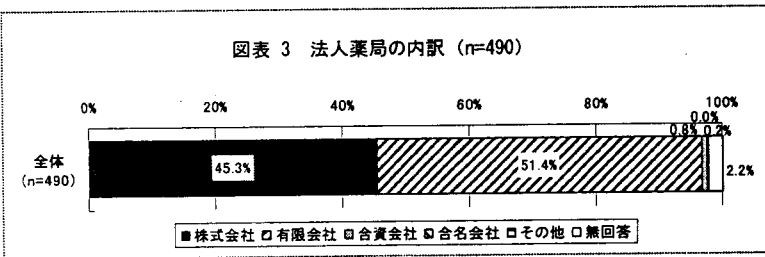
①薬局の属性

1) 組織形態

図表 2 組織形態（法人・個人別）(n=566)

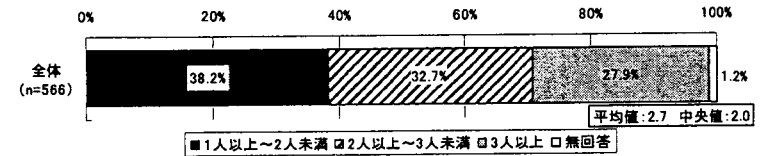


図表 3 法人薬局の内訳 (n=490)

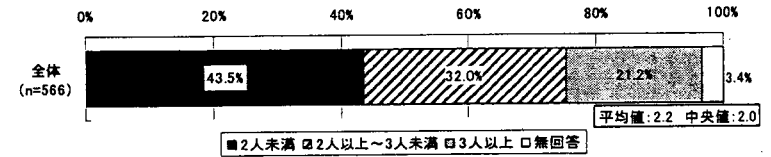


2) 職員数

図表 4 薬剤師の職員数（常勤換算）

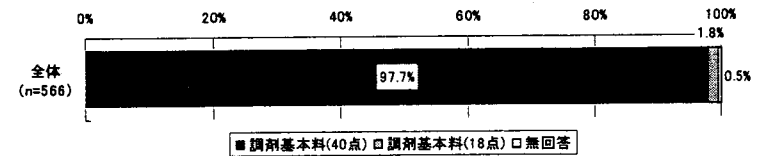


図表 5 その他（事務職員等）の職員数（常勤換算）

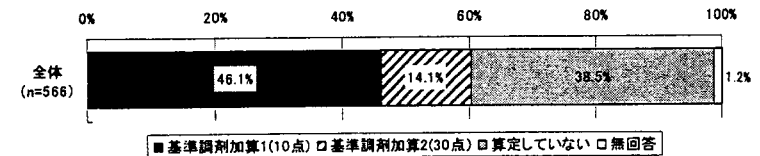


3) 調剤の状況等

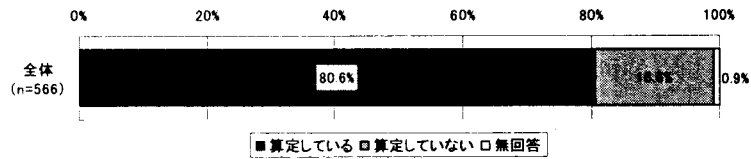
図表 6 調剤基本料



図表 7 基準調剤加算



図表 8 後発医薬品調剤体制加算の算定状況



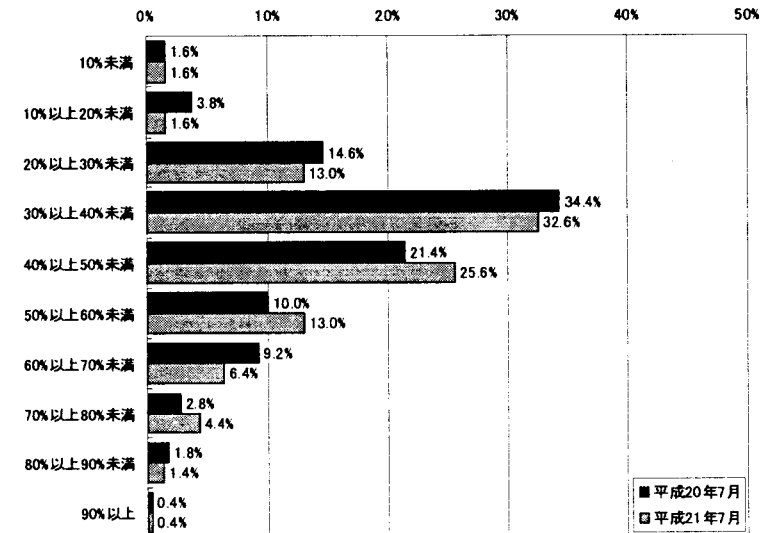
図表 9 後発医薬品調剤率 (n=500)

(単位: %)

	平成 21 年			平成 20 年		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1 月	44.2	15.8	42.5	39.8	17.6	37.2
2 月	43.4	15.4	41.3	40.3	17.3	37.7
3 月	42.7	15.4	40.3	40.2	17.0	37.3
4 月	42.5	15.2	40.9	41.5	16.1	39.5
5 月	42.6	15.2	40.4	41.6	15.9	39.2
6 月	42.4	15.2	40.3	41.3	15.7	38.9
7 月	42.6	15.1	40.3	41.2	15.8	38.7

※各月全てに回答があった 500 施設を対象とした。

図表 10 後発医薬品調剤率にみた薬局数の分布(平成 20 年 7 月及び平成 21 年 7 月、n=500)



※各月全てに回答があった 500 施設を対象とした。

4) 処方せん発行医療機関 (平成 21 年 7 月)

図表 11 処方せん発行医療機関数

	医療機関種別			合計
	病院	一般診療所	歯科診療所	
処方せん発行医療機関数(A)	11.84	27.12	1.75	40.72
(うち)「変更不可」欄に処方医の署名等が9割以上ある機関数(施設)(B)	2.01	4.38	0.14	6.53
(うち)主として先発医薬品を銘柄指定している機関数(施設)	1.73	3.42	0.13	5.27
(うち)主として後発医薬品を銘柄指定している機関数(施設)	0.25	0.81	0.01	1.06
処方せん枚数(枚)	433.1	972.0	14.5	1419.5
「変更不可」欄に処方医の署名等が9割以上ある医療機関数の割合(B/A)(%)	17.0%	16.1%	7.9%	16.0%
薬局数	443			

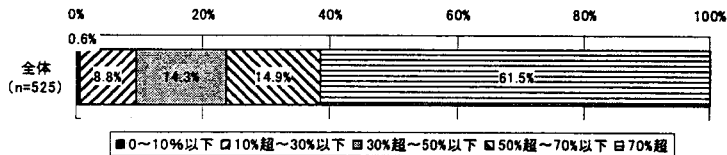
※すべての項目に回答のあった施設を対象に集計した。

図表 12 処方せん枚数が最も多い1医療機関の処方せん枚数 (n=525)

	平均値	標準偏差	中央値
処方せん発行枚数(枚)	1,062.4	1,066.6	870.0

※処方せん枚数について回答のあった施設を対象に集計した。

図表 13 特定の保険医療機関に係る処方せん割合 (最も多いもの)



図表 14 半径 200m 以内にある医療機関数 (n=549)

	平均値	標準偏差	中央値
半径 200m 以内にある医療機関数(件)	3.9	4.7	3.0

②取り扱い処方せんの状況 (平成 21 年 7 月 21 日~27 日)

1) 取り扱い処方せん枚数

図表 15 取り扱い処方せん枚数 (372 薬局分)

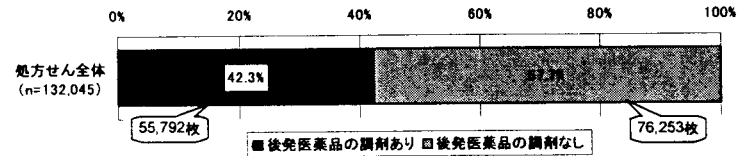
	7月21日~27日の取り扱い処方せん枚数	
	枚数(枚)	割合
① すべての取り扱い処方せん	132,045	100.0%
② ①のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	55,792	42.3%
③ ①のうち、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」欄に処方医の署名等がない処方せん	90,511	68.5%
④ ③のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん(初めての变更に限らず、以前に一度変更し、今回も同様に変更した場合も含む)	4,965	3.8%
⑤ ④のうち、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん	992	0.8%
⑥ ④のうち、後発医薬品分割調剤加算を算定した処方せん	61	0.0%
⑦ ③のうち、今回は、先発医薬品を後発医薬品に変更しなかったが、以前に一度、先発医薬品から後発医薬品に変更し、これを受けて処方医が、当該後発医薬品の銘柄処方方に切り替えた処方せん	2,149	1.6%
⑧ ③のうち、1品目でも後発医薬品を他の後発医薬品に変更した処方せん	370	0.3%
⑨ ③のうち、処方せんに記載されたすべての先発医薬品について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更できなかった処方せん	10,107	7.7%
⑩ ③のうち、後発医薬品のみが記載された処方せん(上記⑦に該当するものを除く。)	3,689	2.8%
⑪ ③のうち、「後発医薬品についての説明」※1を行ったにもかかわらず、患者が希望しなかったために、すべて後発医薬品に変更できなかった処方せん(過去に説明した際に、患者が希望しない意思を明確にしており、今回も後発品への変更をしなかった場合を含む)	9,658	7.3%
③のうち、以下の理由により、後発医薬品に変更できなかった先発医薬品が1品目でもある処方せん		
⑫ 先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品がなかったため	14,015	10.6%
⑬ ⑫のうち、薬価収載されていなかったため	8,901	6.7%
⑭ ⑫のうち、在庫として備蓄していなかったため	6,036	4.6%
⑮ 先発医薬品の剤形(ただし、OD錠除く)に対応した後発医薬品がなかったため	4,038	3.1%
⑯ ⑮のうち、薬価収載されていなかったため	2,222	1.7%
⑰ ⑮のうち、在庫として備蓄していなかったため	1,867	1.4%
⑱ 先発医薬品の剤形がOD錠であり、それに対応した後発医薬品がなかったため	706	0.5%
⑲ ⑲のうち、薬価収載されていなかったため	254	0.2%
⑳ ⑲のうち、在庫として備蓄していなかったため	411	0.3%
⑩のうち、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」欄に処方医の署名等がある処方せん	41,534	31.5%
㉑ ⑩のうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん	18,272	13.8%
㉒ ⑩のうち、処方せん内容の一部について変更不可としている処方せん	2,294	1.7%
㉓ ㉒のうち、一部先発医薬品について変更不可としている処方せん	1,815	1.4%
㉔ ㉒のうち、一部後発医薬品について変更不可としている処方せん	865	0.7%

*「後発医薬品についての説明」とは

後発医薬品と先発医薬品とが同等であること(例えば、品質、安定性、生物学的同源性試験結果等)の説明に加え、患者の処方せんにおける変更前の薬剤料と変更後の薬剤料の差額等についての説明等を指す。

2) 1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん割合

図表 16 すべての処方せんにおける、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せんの割合
(平成21年7月21日～27日1週間分の処方せんベース)

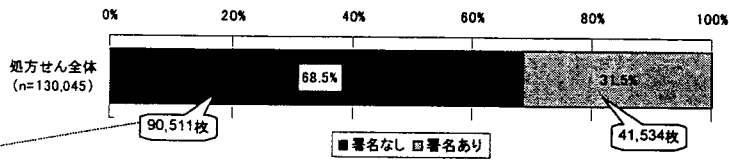


3) 後発医薬品への変更割合 (処方せん枚数ベース)

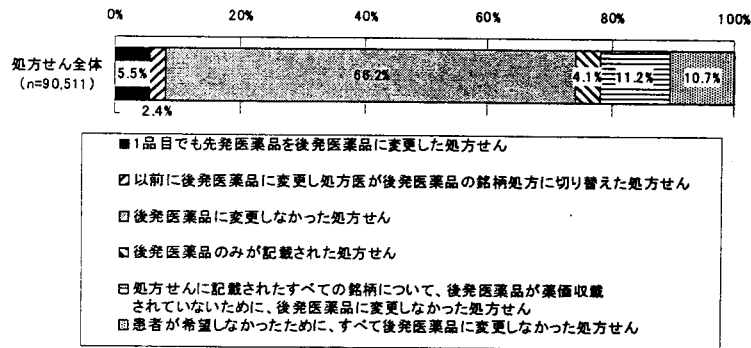
図表 17 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん (n=90,511)
における、後発医薬品への変更状況
(平成21年7月21日～27日1週間分の処方せんベース、372薬局分)

	枚数(枚)	割合
「変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん	90,511	100.0%
1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん	4,965	5.5%
(うち)後発医薬品情報提供料を算定した処方せん	992	1.1%
(うち)後発医薬品分割調剤加算を算定した処方せん	61	0.1%
今回は、先発医薬品を後発医薬品に変更しなかったが、以前に一度、先発医薬品から後発医薬品に変更し、これを受けて処方医が、当該後発医薬品の錠柄処方へ切り替えた処方せん	2,149	2.4%
1品目でも後発医薬品を他の後発医薬品に変更した処方せん	370	0.4%
処方せんに記載されたすべての先発医薬品について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更できなかった処方せん	10,107	11.2%
後発医薬品のみが記載された処方せん(上記に該当するものを除く。)	3,689	4.1%
患者が希望しなかったために、すべて後発医薬品に変更できなかった処方せん	9,658	10.7%
以下の理由により、後発医薬品に変更できなかった先発医薬品が1品目でもある処方せん		
先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品がなかったため	14,015	15.5%
採用されている後発医薬品に、先発医薬品の含量規格に対応した製剤が薬価収載されていなかったため	8,901	9.8%
先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品を在庫として備蓄していなかったため	6,036	6.7%
先発医薬品の剤形(ただし、OD錠除く)に対応した後発医薬品がなかったため	4,038	4.5%
採用されている後発医薬品に、先発医薬品の剤形に対応した製剤が薬価収載されていなかったため	2,222	2.5%
先発医薬品の剤形に対応した後発医薬品を在庫として備蓄していなかったため	1,867	2.1%
先発医薬品の剤形がOD錠であり、それに対応した後発医薬品がなかったため	706	0.8%
採用している後発医薬品に、OD錠が薬価収載されていなかったため	254	0.3%
OD錠の後発医薬品を在庫として備蓄していなかったため	411	0.5%

図表 18 すべての処方せんにおける、「後発医薬品への変更不可」欄の処方医の署名等の有無（平成 21 年 7 月 21 日～27 日 1 週間の処方せんベース）

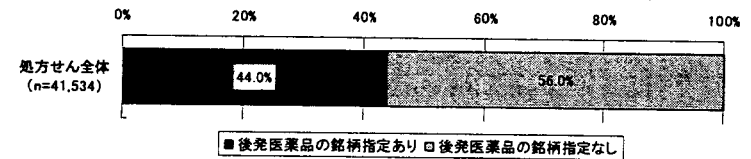


図表 19 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん（n=90,511）における、後発医薬品への変更状況（平成 21 年 7 月 21 日～27 日 1 週間の処方せんベース）



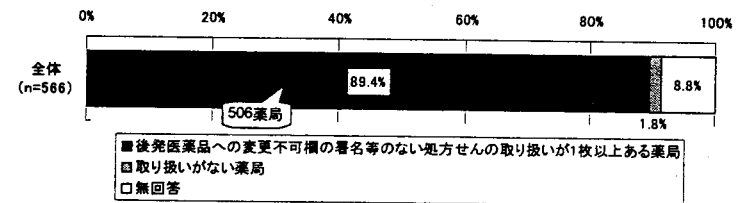
4) 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がある処方せんのうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん割合

図表 20 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がある処方せん（n=41,534）のうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん割合（平成 21 年 7 月 21 日～27 日 1 週間の処方せんベース）

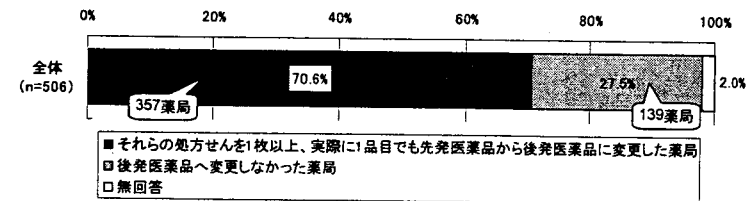


5) 後発医薬品への変更割合（薬局数ベース）

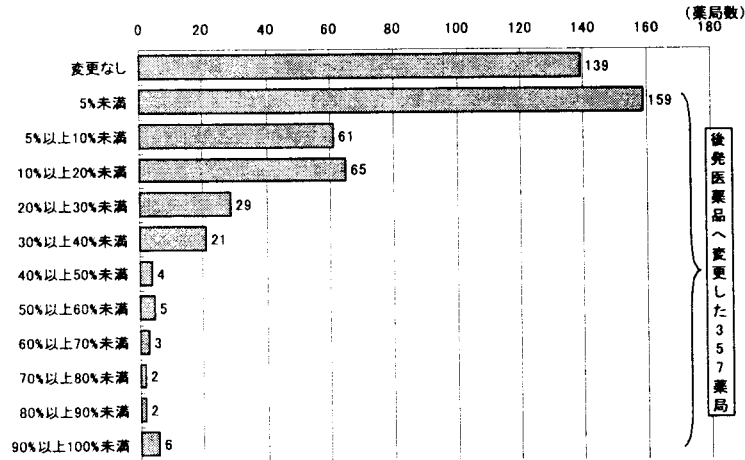
図表 21 1 週間の取り扱い処方せんのうち、「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局数の割合（薬局ベース）



図表 22 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局（506 薬局）のうち、実際に 1 品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した薬局数の割合（薬局ベース）



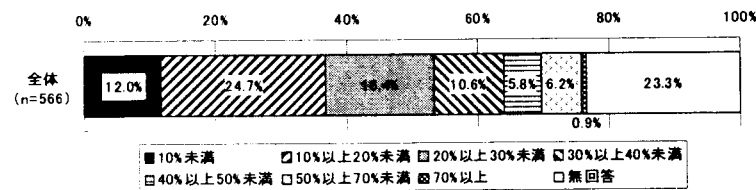
図表 23 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局（506 薬局）における、後発医薬品への変更可の処方せんに占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（薬局ベース）



※506 薬局の中には、後発医薬品への変更割合が不明の 10 薬局が含まれている。

6) 1 週間に調剤したすべての医薬品に占める後発医薬品の割合

図表 24 1 週間に調剤したすべての医薬品に占める後発医薬品（数量ベース）の割合（平成 21 年 7 月 21 日～27 日 1 週間、薬局ベース）



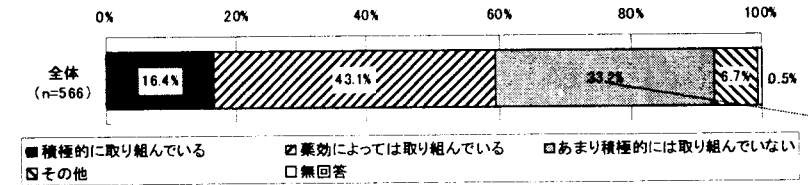
図表 25 1 週間に調剤したすべての医薬品に占める後発医薬品（数量ベース）の割合（平成 21 年 7 月 21 日～27 日 1 週間、薬局ベース、n=434）

	平均値	標準偏差	中央値
すべての医薬品に占める後発医薬品の割合 (%)	24.4	16.0	20.1

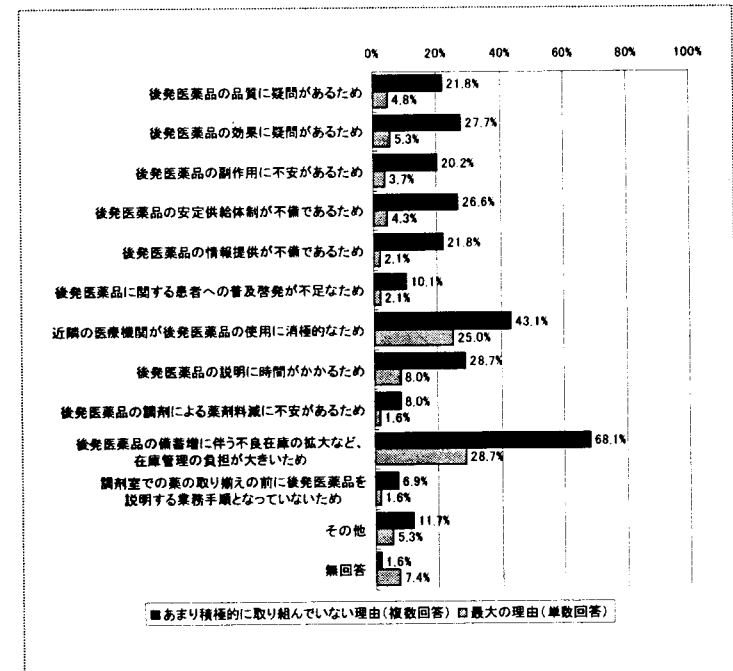
③後発医薬品への対応状況（平成 21 年 4 月以降）

1) 後発医薬品の説明・調剤に関する考え方

図表 26 後発医薬品の説明・調剤に関する考え方

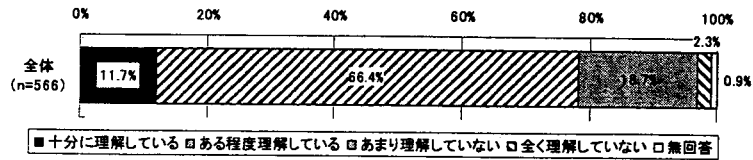


図表 27 あまり積極的に取り組んでいない理由（n=188）



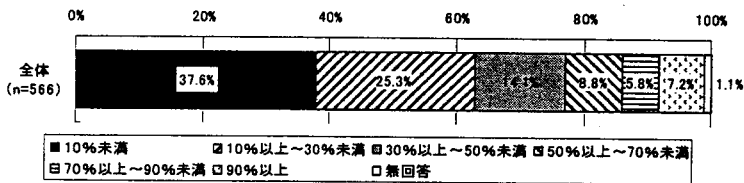
2) 後発医薬品の品質保証方法の理解度

図表 28 後発医薬品の品質保証方法の理解度



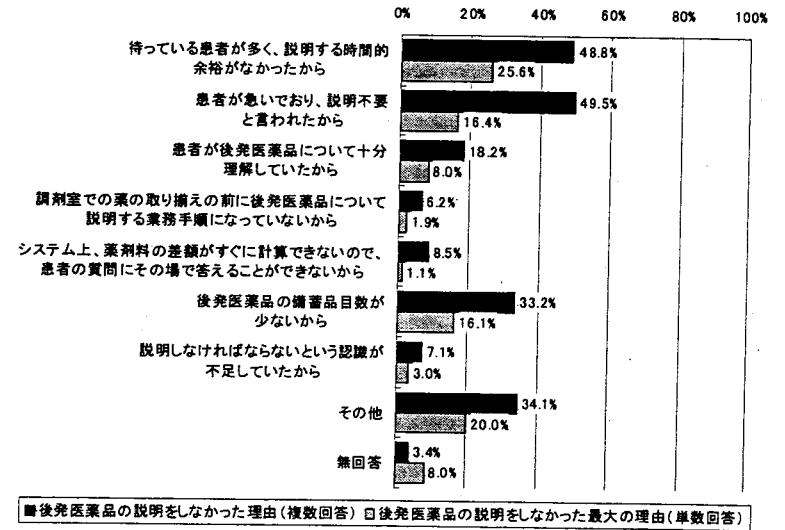
3) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての説明を行った患者の割合

図表 29 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての説明を行った患者の割合 (薬局ベース)

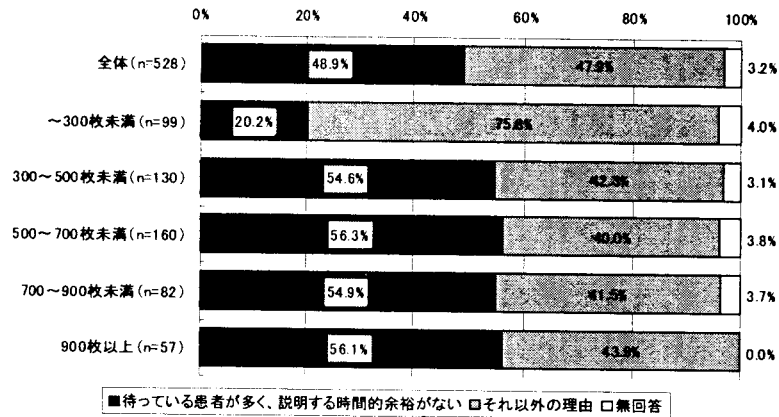


4) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者に後発医薬品についての説明をしなかった理由

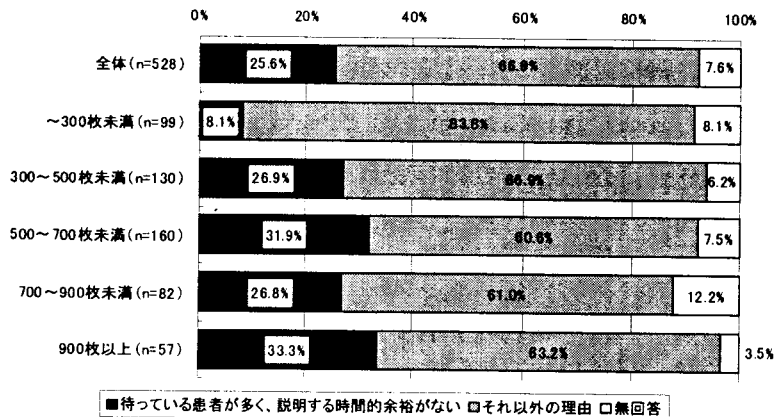
図表 30 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者に後発医薬品についての説明をしなかった理由 (n=566)



図表 31 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者に対し、後発医薬品についての説明をしなかった理由として「待っている患者が多く、説明する時間的余裕がなかったから」を選んだ薬局と選ばなかった薬局（薬剤師（常勤換算）1人当たりの受付処方せん枚数（1か月間合計）別）

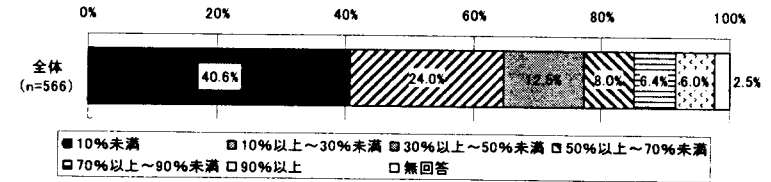


図表 32 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者に対し、後発医薬品についての説明をしなかった最大の理由として「待っている患者が多く、説明する時間的余裕がなかったから」を選んだ薬局と選ばなかった薬局（薬剤師（常勤換算）1人当たりの受付処方せん枚数（1か月間合計）別）



5) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品について簡潔な説明だけを行った患者の割合

図表 33 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品について簡潔な説明*だけを行った患者の割合（薬局数ベース）



*「簡潔な説明」とは後発医薬品と先発医薬品とが同等であることの説明はしたが、変更前後の薬剤料の差額などは説明していない場合や、以前に丁寧に説明し、今回は後発医薬品への変更希望だけを確認した場合などを指す。後発医薬品に関する説明を記載した文書を患者に手渡し、希望の有無等を確認した場合も含む。

6) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品への変更をすすめた患者の割合

図表 34 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品への変更をすすめた患者の割合（薬局数ベース）

